

年頭のご挨拶



香川県中小企業団体中央会
会長 国東 照正

明けましておめでとうございます。

皆様方には、令和6年の輝かしい新春をお健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素は本会の運営に際しまして、格別のご
支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し
上げます。

昨年を振り返りますと、ワールド・ベースボール・
クラシックが開催され、日本が14年ぶり3度目の優
勝といった明るい話題もありました。一方、わが国
経済では、コロナ禍が収束傾向となりましたが、個
人消費は物価高の影響等により、コロナ禍前の水
準までは回復しておらず、人件費の上昇など、依然
として非常に厳しい状況が続いております。

国及び香川県等におかれては、我々中小企業・小
規模事業者は、わが国経済の活力の源泉であり、地
域の産業と雇用を支えるものとして、エネルギー価
格の高騰等による物価高への対策や事業再構築
のための各種の支援策を実行していただいておりますが、我々が生き残っていくためには、公的な支
援に依存するだけでなく、改めて自身の経営資
源を見直すなどの経営改革に取り組むことが求め
られております。

こうした中、我々が多様な課題に前向きに対応し
ていくためには、時代の変化を的確に把握し、個々
の事業者では対応が難しい経営課題について、中

小企業組合等の連携組織を積極的に活用し、協同
により足らざる経営資源を補完・補強し合い、自ら
の成長力を強化して経営の持続性の確保を図るこ
とが肝要であると考えております。

本会では、会員組合及び組合員の皆様並びに地
域の振興発展のため、中小企業団体に対する唯一
の専門支援機関として、組合等の連携強化や組織
化による創業支援、新分野に進出する中小企業組
合への支援など、国や県の中小企業施策に沿った
各種事業をより一層積極的に推進いたします。ま
た、厳しい経営環境の中、果敢にチャレンジしようと
する意欲ある中小企業・小規模事業者と組合の皆
様の一助となれますよう、本県中小企業の生産性
向上に向けた支援を積極的に展開してまいります。

結びに、中小企業組合をはじめとする関係者の
皆様方にとって、新たな飛躍の一年となりますこと
を心よりご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさ
せていただきます。

令和6年 年頭所感



四国経済産業局長
小山 和久

令和6年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の日本経済は、円安に伴う原材料・エネルギーの高騰や人手不足の影響により、厳しい状況が続いているものの、コロナ禍を経て社会経済活動の正常化が進みつつありました。

足元では、賃金や設備投資が上昇し、30年ぶりの変革を果たすチャンスを迎えており、賃金と物価が好循環する新たなステージへの光が差しつつあります。

そうした中、経済産業省では、エネルギー価格高騰への対応として、燃料油価格、電気料金・ガス料金の激変緩和対策事業を創設し、家計や企業の負担軽減を図ってまいりました。また、適切な価格転嫁や賃上げにつなげるための活動を関係機関の皆様と一体となって行ってきました。

四国地域は全国に先駆けていち早く人口減少が進んでいます。喫緊の課題でもある物流の2024年問題対応に加え、地方創生や脱炭素化への取組を通じて、持続可能な四国地域の実現に向けた歩みを着実に進めていく必要があります。

四国経済産業局では、昨年5月に地域経済活性化に資する連携に関する協定を中国四国農政局、四国運輸局との3者間で締結し、貨物流通効率化、脱炭素化に向けた情報提供、地域資源を活かした

観光振興などに地域の関係機関と連携して取り組んでいるところです。

さらに、来年2025年には大阪・関西万博が開催されます。イノベーションの創出、国内外からの投資拡大、インバウンドの回復の絶好の機会として、万博を有効に活用し、地域経済の活性化につなげてまいります。

昨年11月にデフレ完全脱却のための総合経済対策がとりまとめられました。四国経済産業局は、経済対策に盛り込まれた支援施策の有効活用を促進し、四国経済を熱量あふれる新しい経済ステージへ移行させるためのスタートダッシュに当局職員が一丸となって取り組みます。

本年も一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

新しい年を迎えて



香川県知事
池田 豊人

明けましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から、県政の各般にわたり、格別のご理解とご協力をいただいております。厚くお礼を申し上げます。また、専門化・多様化するニーズに応じ、組合等の連携組織を活用し、外国人材の受入れをはじめ、経営資源の相互補完・補強や事業者同士の団結によるビジネスの活性化などに積極的に取り組み、中小企業の振興や地域経済の活性化にご尽力されており、心から敬意を表します。

現在、我が国では、人口減少や少子高齢化などが加速度的に進んでいることに加え、物価の高騰など、地域社会経済や県民生活に大きな影響を及ぼすような事象が発生しています。こうした中、県政には、県民の安全な暮らしを守り、県経済を発展させ、香川県の未来を次の世代につなぐ実践が強く求められています。

県では、人生100年時代のフロンティア県の実現を目指し、総合計画の見直しを行いました。見直し後の総合計画では、基本方針として、安全・安心で住みたくなる香川をつくる「県民100万人計画」、

活力に満ち挑戦できる香川をつくる「デジタル田園都市100計画」、多くの人が行き交い訪れたい香川をつくる「にぎわい100計画」の3つを掲げています。

今後は、この基本方針のもと、少子化局面を打開するための子ども・子育てへの支援、企業誘致やスタートアップ支援等の産業振興、観光誘客やにぎわいづくりなど、本県の将来の発展のために必要な施策に積極的に取り組んでまいりますので、皆様方には、一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

本年が皆様方にとりまして、明るく希望に満ちた年となりますよう祈念いたしますとともに、香川県中小企業団体中央会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

年頭に当たって



全国中小企業団体中央会
会長 森 洋

明けましておめでとうございます。令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、コロナ感染症の5類への変更により社会経済活動が正常化し、円安を活かしたインバウンド等の需要が回復した一方で、豪雨・台風等の自然災害、深刻化する人材不足、原材料や労務費等の価格上昇とその転嫁の遅れ、事業承継問題など、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況に直面してきました。

こうした中で、昨年10月11日に宮城県仙台市で開催した第75回中小企業団体全国大会では、全国各地から中小企業団体の関係者約2千名が参集し、

I. 中小企業・小規模事業者等の危機的状況の克服、成長促進支援等の拡充

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議し、その実現に向け精力的に陳情活動を行って参りました。

その結果、大会決議の主な要望事項が、令和5年度補正予算等による「デフレ脱却のための総合経済対策」に盛り込まれ、その早期かつ速やかな実行に期待するとともに、本会においても施策の広報と迅速な執行に努めております。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化することを踏まえつつ、資金繰り対策、経営改善・事業再生、デジタル化の推進や、リスキリング等の「人への投資」、ものづくり補助金、事業再構築補助金や省力化投資補助金による生産性向上、インボイス導入による事務負担増、物流の2024年問題、外国人技能実習制度の変更、スタートアップ育成、輸出拡大、大阪・関西万博などの最重要課題については、会員皆様との連携を一層強化し、伴走支援を図って参ります。

結びに、令和6年の甲辰の年は「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起の良い年とされています。本年が、中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、成長を実感する1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和6年元旦

年頭所感



株式会社商工組合中央金庫
高松支店長 川上 健太郎

新年明けましておめでとうございます。令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

令和5年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動が正常化に向かう一方で、原材料価格の高騰や人手不足感の高まり等、国内外の経済の先行きに不透明感が大きく高まりました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化してきています。

私ども商工中金においては、昨年6月に商工中金法の改正法案が国会において成立し、2年以内に政府保有株式の全部が処分され、商工中金の業務範囲が見直される一方で、株主資格制限や特別準備金制度、危機対応業務の責務など、必要な各種の措置は維持されることになりました。そして、法改正を機に企業理念(パーパス)である「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」を皆さまとの約束として定款にも規定しました。

社会情勢や中小企業の経営課題が大きく変化
する中、商工中金法改正の趣旨を踏まえ、中長期

的に中小企業が直面する経営課題を踏まえ策定した中期経営計画に基づき、これまで以上に様々なニーズにお応えできるようサービス、機能を強化してまいります。

具体的には、主要戦略として「サービスのソフト」、「差別化分野の確立」、「企業変革」を設定し、課題解決に向けて取り組むお客さまに対して様々な経営リソースを提供することを通じて、総合的な課題解決力を発揮し、変化につよい企業経営をお客さまとともに実現してまいります。

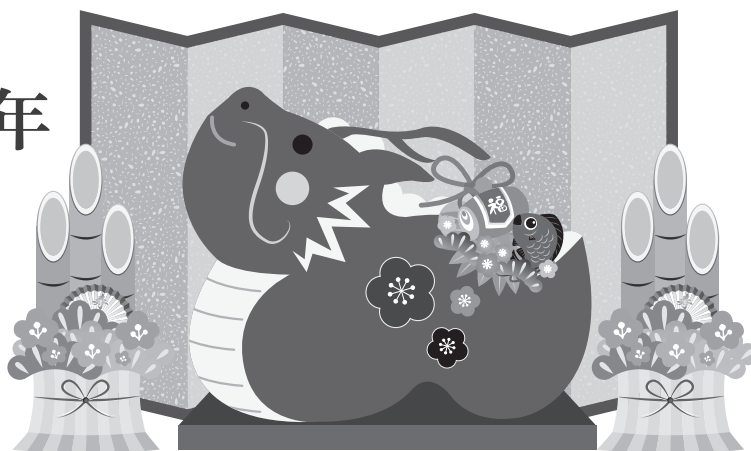
「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、高松支店職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、本年も格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう、また、香川県中小企業団体中央会の益々のご発展と会員企業皆さまのご繁栄とご健勝をご祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和6年元旦

明けましておめでとうございます

令和6年



本年もよろしく
お願い申し上げます

香川県中小企業団体中央会

会 長	国東 照正	香川県中小企業団体中央会	理 事	二川 隆一	香川県食肉事業協同組合連合会	
副 会 長	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合	//	小竹 和夫	香川県建築事業協同組合	
	//	大峯 茂樹		//	岩崎 康誠	香川県タクシー協同組合
	//	古川 康造		//	白井 正人	香川県家具商工業協同組合
	//	三矢 昌洋		//	末包 賀裕	香川県造園事業協同組合
専務理事	岡 興司	専 従		//	宮崎 佳昭	香川県印刷工業組合
常任理事	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合		//	藤井 武志	香川県室内装飾事業協同組合
	//	中川 悟		//	中谷 明生	庵治石開発協同組合
	//	佐々木 正富		//	片岡 伸介	香川県屋外広告美術協同組合
	//	増田 浩		//	伊藤 雄二	小豆島手延素麺協同組合
	//	斉藤 孝		//	加内 雅彦	公益社団法人香川県宅地建物取引業協会
	//	川原 陸		//	三好 浩之	香川エルピーガススクリーン協同組合
	//	津村 潤治		//	樋口 高良	香川県臨海企業団地協同組合
	//	岡 隆夫		//	鎌田 由美子	香川県食糧事業協同組合
理 事	楠木 寿嗣	一般社団法人香川県トラック協会		//	山下 芳伸	香川県漆器工業協同組合
	//	神原 満		//	佐藤 佳生	香川県電気工業協同組合
	//	辻村 啓一		//	棚次 啓二	日本手袋工業組合
	//	向井 幸司		//	大野 英作	小豆島調理食品工業協同組合
	//	真鍋 道雄		//	木村 典雄	中央会青年部会長
	//	篠原 公七		監 事	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング
	//	国東 宣之		//	上村 芳久	四国鍍金工業組合
	//	貞野 正昭		//	近藤 善和	国際経済交流協同組合
	//	吉原 良一				

還暦同窓会についての個人的感想



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

皆さま、明けましておめでとうございます。当方の担当も21年目に突入しましたが、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。今回の話題は、「同窓会」です。

当方も還暦に達し、昔のことを懐かしく思うお年頃となったのですが、好都合なタイミングで高校の同窓会(同期会)の案内が往復はがきで来ました。当方が卒業したのは千葉県立東葛飾高校で、県立高校にもかかわらず、私服で校則もなさに等しく、自由を大いに満喫しました。そんな高校でしたので、返事は脊髄反射的に「出席」で出しました。

その同窓会は、昨秋の休日に高校所在地の千葉県柏市で開かれたのですが、会場に到着したときから、当方には違和感がありまくりでした。一見したところでは、誰が誰だか全然わからないのです。まあ、月日は40年以上流れているわけで、無理ありませんが。悪い人相になったヒトはほとんどいませんが、それにしても、基本的に若いときの面影が見いだせず、目に光がないヒトが多く、年よりじみて、果ては妖怪のようになってしまっているヒトとかもいて、本当にジジイ手前の集まりでありました...

そして、かつて3年生で所属したクラスごとに丸テーブル席につきました。隣に座ったのはわりと知っているヤツで話が弾んだのですが、後は親しくないヒトばかりでした。出席者全体の名簿を見ても、知らないヒトがあまりにも多いのです。これはなんとしたことなのでしょう。そのうちに、一人30秒程度での自己紹介タイムが始まりました。

これを聞くと、出席者は首都圏で働く(働いていた)会社員のヒトがほとんどで、自分と同じような研究職のヒトとかはほとんど参加していないことが判明しました。また、健康面については、かなり多くのヒトがなんらかの基礎疾患を抱えているとのことで、隣に座ったヤツなどは、糖尿、高血圧その他を抱えているのにヘラヘラしているの、「怖くないのか?」と聞いたら、「もう慣れた、なるようになるさ」という返答でした。

そして、2次会に突入して、新たに同席したヒトたちより、今回の同窓会の開催経緯が聞きました。なんでも、同期のFacebookグループが存在するとのことで、今回の出席者はほとんどがこれに所属しているとのことでした。つまり、普段から連絡を取り合い、それなりの人脈を形成しているヒトたちが、コロナも明けたし、そろそろ同窓会でもやるかという話になって、幹事団が選出され、連絡もFacebookを通じて逐次スムーズになされ、それに幹事の一人より往復はがきで連絡が来た当方のようなヒトを一部混ぜたとのことでした。なるほど、当方が知らないヒトが多数であったのはこれで合点がいきます。

高松に帰った後、当方が会いたかった方々数名に連絡を入れたのですが、皆、「同窓会があったのか!」と驚いていました。そして、「キミは連絡が来たら出たか?」と尋ねると、「いいや、恐らく行かない」との回答でした。今回、当方が主に会いたかっ

たのは、高校当時、同じく理系コースに所属して切磋琢磨した仲間、現在も第一線で研究職や技術職に就いている方々でした。大学生の頃と同様、彼らと最先端の技術課題やその解決アプローチなどについて意見交換し(実際には教えてもらい)たかったのです。しかし、鈴木信行『同窓会に行けない症候群』(日経BP)によると、彼らは現在も仕事が忙しいが故に、同窓会などに参加するヒマはないとのことです。

なるほど、確かにそうかもしれませんね。さらに同書によると、昭和の時代では、右肩上がりの成長により、多くの勤め人が胸を張って同窓会に出席できましたが、低成長が続いた平成の時代では、出世も困難で、自信を失ったヒトも多くなり、同窓会がそもそも成り立ちづらくなっているようです。してみると、同期卒業生361名(卒業後の死亡者は数名確認されているようです)のうち100名程度が所属しているFacebookグループメンバーの大半(80名程度)が出席した事実より、我が同期生の卒業後の状況は比較的ましと考えられるのかもしれない。

ここに至り、当方は、自分が、同窓会を単純に、牧歌的に捉えていたことを思い知りました。まあ、何事も自ら経験してみると、実情が具体的に理解できるので、よい経験値UPにはなったのですが、ならば、今後、同窓会が再び開催されたら自分は出席するかというと、やはり、行かない側に回りそうです。同窓会という形式は、人数が多く、やたら騒がしく、ゆっくり話もできないので、それよりは、会いたくなったヒトに個別にアポを取って、会いに行つた方が相当ましと思った次第です。

その際の話ですが、今後は、年齢的に仕事についてはフェードアウトしていくので、趣味が中心となるでしょう。現在の自分の趣味は、まず、「旅行」と答えるのですが、その内容は「離島訪問、B級グルメ、温泉、車中泊」などとなります。続いて、「ホームシアターでの昔のアニメを中心とする映像鑑賞」があります。「PC」も自作するぐらいだから趣味に数えてよいでしょうね。そして、「サイクリング」、これは今でもちゃんとトレーニングしているので、胸を張って言えますよね。忘れていたのが「鉄道模型」、大型レイアウトは未だ制作していません。他に、「読書」としては、軍事、鉄道、恐竜とか、いろいろなジャンルの本を集めています。さらに「麻雀」や「クイズ」も、趣味に数えられるかもしれません。

とりあえず、自らの趣味を思い起こしてみました。我ながらわりと多趣味ですね。この程度あれば、会いたいヒトたちと数時間意見交換するのは容易だと思われるのですが、果たしてどうでしょう?そして、同窓会でも、このような情報提供の工夫があれば、その後の交流促進に繋がったかもしれませんね(各種SNSで勝手にやれ、と言われそうですが)。

中央会だより

中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会を開催

12月5日、香川県中小企業団体中央会、香川県商工会連合会、香川県商工会議所連合会及び香川県商店街振興組合連合会の商工4団体は、高松国際ホテル（高松市）において「中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会」を開催しました。

この集会は地域の中小企業及び組織が一丸となって、中小企業・小規模事業者の活力ある成長・発展に向けた諸施策の展開を国・県等に要望し、その実現を図ることを目的に開催したものです。

当日は、四国経済産業局・小山和久局長、香川県・大山智副知事、香川県議会・新田耕造議長をはじめ、多数の来賓のご臨席のもと、4団体の役員など県下から中小企業経営者約170名が参加しました。

香川県商工会連合会・香川芳文副会長が主催者代表として挨拶を行った後、香川県商工会議所連合会・綾田裕次郎会長が意見表明し、続いて、本会・国東照正会長が下記7項目の集会決議を発表、全会一致で採択しました。最後に香川県商店街振興組合連合会・古川康造理事長が閉会挨拶を行い、盛会のうちに集会を終了しました。

【集会決議】

1. 資源・原材料価格の高騰等に関する要望
2. 中小企業・小規模事業者の活力強化及び地域活性化のための要望
3. 人材確保・育成・定着に関する要望
4. 事業承継支援施策の拡充と創業支援施策に関する要望
5. デジタルトランスフォーメーションの推進に関する要望
6. 脱炭素社会実現に向けた取組みに関する要望
7. 大規模災害に関する防災力強化の要望



▲集会決議を発表する国東会長



▲集会の様子

中央会からのお知らせ

新春講演会並びに交流会のご案内

香川県中小企業団体中央会新春講演会並びに交流会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

【香川県中小企業団体中央会新春講演会・交流会】

- 日 時 令和6年1月24日(水)16時～
- 場 所 高松国際ホテル 新館2階「瀬戸の間」 高松市木太町2191-1 TEL.087-831-1511
- 内 容 新春講演会(16時～17時30分) テーマ／「中世の讃岐武士」 講師／香川県中小企業団体中央会 参与 村井真明 氏
新春交流会(17時40分～)
- 申込先 香川県中小企業団体中央会 総務企画部(高橋、高國) TEL.087-851-8311

FROM青年部

組合青年部全国講習会に参加

11月10日、組合青年部全国講習会が高知県立県民文化ホール(高知市)にて開催され、本会青年部より木村会長をはじめ8名が出席しました。

第1部は株式会社ビスタワークス研究所・大原光泰代表取締役社長より「人間を育む経営」、第2部は事継舎・佐藤政信代表より「経営力を向上させる事業継続活動の真意～BCPから事業継続活動～」をテーマに講演がありました。

第3部では「経営力を向上させる事業継続活動について」全国UBAブロック代表者によるパネルディスカッションが行われました。引き続き行われた交流懇親会では全国各地の出席者と交流を行い、盛況のうちに終了しました。



▲講習会の会場



▲交流懇親会の様子

会員ニュース

高松市に期間限定の
アウトレットショップを出店

日本手袋工業組合

日本手袋工業組合は、12月9日～12月24日の間、高松丸亀町商店街の讃岐おもちゃ美術館でアウトレットショップを出店しました。

香川県東かがわ市は、日本一の手袋の産地として有名ですが、大手百貨店、量販店以外には手袋の大きな売り場が少なく、組合が運営する手袋資料館に併設されたショップが最大且つ唯一の手袋販売所となっています。そこで、令和元年より地元である香川県の人々に、東かがわ市の高品質な手袋などを広く知ってもらうことを



▲店内の様子

目的として、高松市で期間限定のアウトレットショップを出店しています。

当店舗では、通常よりもお得に高品質な手袋、バッグや革小物を販売し、初日と最終日には小学生以下の子どもを対象に東かがわのヒーロー「てぶくろマン」とのじゃんけん大会が行われました。じゃんけんに勝った子ども達は賞品の手袋を喜んで受け取っていました。



▲「てぶくろマン」とのじゃんけん大会

香川労働局からのお知らせ

令和5年度香川県の特定最低賃金について、下記の通り改正されました。

- ①はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業は、**時間給1,040円** (令和5年12月15日付)
- ②電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業は、**時間給982円** (令和5年12月15日付)
- ③船舶製造・修理業、舶用機関製造業は、**時間給1,041円** (令和6年1月3日付)

※全業種に適用のある香川県最低賃金は、時間額918円 (令和5年10月1日発効) です。

- 詳しくは香川労働局ホームページをご覧ください。
https://jsite.mhlw.go.jp/kagawa-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/saiteichingin.html
- お問い合わせ先は、香川労働局労働基準部賃金室 電話087-811-8919

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社／定価
1	大ピンチずかん2	鈴木のりたけ	小学館／1,650円
2	続 窓ぎわのトットちゃん	黒柳徹子	講談社／1,650円
3	新版 科学がつきとめた「運のいい人」	中野信子	サンマーク出版／1,650円
4	星を編む	凧良ゆう	講談社／1,760円
5	今日、誰のために生きる？	ひすいこたろう SHOGEN	廣済堂出版／1,760円

香川県書店商業組合調べ

経済産業省関係令和5年度補正予算のポイント

令和5年11月29日、令和5年度補正予算が成立しました。経済産業省関係は以下のとおりです。

1. 物価高から国民生活を守る

(1) 物価高により厳しい状況にある生活者・事業者への支援

① 燃料油価格激変緩和対策事業【1,532億円】

燃料油価格の激変緩和対策事業を来年4月まで継続することで、ガソリンなどの燃料油の卸価格抑制を通じて、小売価格急騰を抑制し、家計・企業等の負担軽減を図る。

② 電気・ガス価格激変緩和対策事業【6,416億円】

現在の電気・ガス料金の値引き支援を来年4月まで継続（5月は支援の幅を縮小）し、家計・企業等の負担軽減を図る。

③ 小売価格低減に資する石油ガス配送合理化・設備導入促進補助金【77億円】

遠隔でのガス栓の開閉や遠隔検針が可能なスマートメーター、配送車両等の導入、充てん所の自動化等に資する設備の導入支援を行うことで、人手不足解消、配送業務の効率化を図る。また、LPガスタンク等の導入支援を行うことで、需要家側のガス購入コストの低減を図る。

※上記の他、生活者には、LPガス使用世帯への給付等の支援や、省エネ家電買い換え支援や賃貸集合住宅向けの断熱窓への改修支援、事業者には、特別高圧やLPガスを使用する中小企業等への支援など、地域の実情に応じたエネルギー価格高騰対策支援を引き続き行うため、内閣府にて「重点支援地方交付金」【0.5兆円（LPガス、省エネ、特別高圧関連はこの内数）】を追加。

(2) エネルギーコスト上昇に対する経済社会の耐性の強化

① 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金【2,025億円】（R5年度：910億円）（GX）

② 省エネルギー投資促進支援事業費補助金【300億円】（R5年度：250億円）

省エネ性能の高い設備への更新に係る費用を補助する「省エネ補助金」。前年度に創設した複数年の投資計画に切れ目なく対応する仕組みを全類型に適用するほか、脱炭素に繋がる電化・燃料転換を促進する類型を新設。

③ 中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費【21億円】

省エネの専門家が中小企業を訪ね、エネルギー使用の改善をアドバイスする「省エネ診断」を、中小企業が安価で受けられるよう支援。

④ 高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金【580億円】（GX）

家庭のエネルギー消費の約3割を占める給湯分野につき、高効率給湯器の導入を支援。また、寒冷地の高額な電気代の要因となっている蓄熱暖房機等の設備を一新する場合には、加算措置を行う。

⑤ 既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業【185億円】

設置スペース等の都合から、ヒートポンプ給湯機等の高効率給湯器の導入が難しい賃貸集合住宅向けに、小型の省エネ型給湯器（エコジョーズ等）の導入支援策を新設。

⑥ クリーンエネルギー自動車導入促進補助金【1,291億円】（GX）

⑦ クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金【400億円】

電気自動車や燃料電池自動車等について、購入費用の補助を通じて初期需要の創出・量産効果による価格低減を促進する。また、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の充電設備等の購入費及び工事費、燃料電池自動車の普及に不可欠な水素ステーションの整備費及び運営費の補助を行う。

2. 地方・中堅・中小企業を含めた持続的賃上げ、所得向上と地方の成長を実現する

(1) 中堅・中小企業の賃上げの環境整備、人手不足対応、生産性向上を通じた賃上げ継続の支援

- ①中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金【3,000億円】（R5年度：1,000億円）
地方においても賃上げが広がるよう、地域の雇用を支える中堅・中小企業が、足元の人手不足等の課題に対応し、成長していくことを目指して行う工場等の拠点の新設や大規模な設備投資を促進する。
- ②中小企業省力化投資補助事業【1,000億円】（中小企業等事業再構築基金の活用等を含め総額 5,000億円規模）
人手不足に悩む中小企業等のため、カタログから汎用製品を選んで行うような簡易なプロセスにより、省力化投資への支援を行う。
※従来の事業再構築補助金は、経済構造の転換に挑戦する事業者、コロナ債務を抱える事業者等に支援先を重点化。
- ③中小企業生産性革命推進事業【2,000億円】
生産性向上に取り組む中小企業・小規模事業者の設備投資、IT導入、国内外の販路開拓、事業承継・引継ぎを補助し、切れ目なく継続的に、成長投資の加速化と事業環境変化への対応を支援する。
- ④日本政策金融公庫等による資金繰り支援【629億円】
新型コロナウイルス感染症の影響のもとで債務が増大した事業者、物価高騰に加え、処理水放出に伴う風評や一部の国や地域による輸入規制強化による影響を受けた事業者の事業継続、賃上げ等に取り組む事業者の支援等のため、資本金劣後ローンの運用改善を含む日本政策金融公庫等による資金繰り支援を行う。
※上記のほか、財務省計上分の51億円とあわせて、計680億円を措置。
- ⑤中小グループ化・事業再構築支援ファンド出資事業【120億円】
中小企業における「グループ化」・「事業再構築」への取組は、既存事業の延長線上にない取組であり、非連続な成長を実現する上で有効な手段であることから、これらの取組を促進し、中小企業の成長を支援するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の出資によりファンドを組成し、「グループ化」・「事業再構築」への取組を通じた成長を目指す中小企業に対する、リスクマネーの供給、ハンズオン支援を実施する。
- ⑥事業環境変化対応型支援事業【112億円】
インボイス制度の導入やエネルギー価格・物価の高騰、最低賃金引き上げ等の様々な事業環境変化の影響を受ける中小企業・小規模事業者への相談や各種支援施策の活用を促すべく、中小企業団体等と連携した支援体制を強化する。
- ⑦中小企業活性化・事業承継総合支援事業【52億円】
財務上の問題を抱えている中小企業等に対して、収益力改善・事業再生等を支援するとともに、後継者不在の中小企業等に対しては、事業承継・事業引継ぎを支援することで、地域の経済と雇用の基盤を支える。
- ⑧中小企業取引対策事業【8.3億円】
価格交渉促進月間のフォローアップ調査を実施するとともに、下請Gメンヒアリングによる取引実態の把握、下請法の厳正な執行や下請トラブルに関する相談対応等により、中小企業の価格交渉・価格転嫁を促進する。
- ⑨中小企業信用補完制度関連補助事業【71億円】
信用保証制度において、経営者保証改革を進めるにあたり、保証料上乘せにより経営者保証の提供を選択できる新制度の構築に際し、信用保証料の補助を時限的に行うとともに、信用保証協会の損失の一部補填に係る措置を行う。
- ⑩なりわい再建支援事業等による被災地域の復興支援【45億円】
- ⑪物流効率化に向けた先進的な実証事業【55億円】
物流の2024年問題等を踏まえ、荷主企業による物流施設の自動化・機械化に資する機器・システムの導入等に係る実証を実施し、投資効果の明確化を行う。また、ラストワンマイル配送の省力化に向け、公道を走行する自動配送ロボットの大規模なサービス実証を行う。

⑫探究的な学びに資する民間サービス等利活用促進事業【16億円】

学校活動支援サービスの導入支援を通じて、教職員の業務の省力化に貢献する。

⑬ライフステージを支えるサービス導入実証等事業【12億円】

企業に対して、家事支援サービスといった幅広いライフステージを支えるサービスの導入実証等を実施し、企業における多様な人材の活躍に向けた環境整備を行う。

(2) 構造的賃上げに向けた三位一体の労働市場改革の推進

①リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業【97億円】

構造的賃上げの実現に向けて、リスキリング及び企業間・産業間の労働移動の円滑化を一体的に進め、持続的な成長と分配の好循環の達成を目指す。

②高等教育機関における共同講座創造支援事業【3.5億円】

高等教育機関における共同講座開設・受講を通じて、先端分野で求められる高度な専門性を備えた人材を育成する。

(3) 経済の回復基調の地方への波及及び経済交流の拡大

①我が国の文化芸術コンテンツ・スポーツ産業の海外展開促進事業等【71億円】

我が国の文化芸術・コンテンツ・スポーツ産業の海外展開を促進するべく、次世代ビジネス環境に対応したコンテンツの創出、海外展開の事例創出を支援するとともに、ロケ誘致の推進等を行う。

②国際博覧会事業【946億円】（R5年度：750億円）

大阪・関西万博の会場建設を進めるべく、準備・運営の主体である（公社）2025年日本国際博覧会協会へ補助を行う。加えて、日本政府館の建設・展示の準備を進め、途上国が万博に参加する為の支援を行う。また、会場内の安全確保に万全を期す。

3. 成長力の強化・高度化に資する国内投資を促進する

- 半導体、AI、量子等の技術開発・整備
- 再エネ、蓄電池等の導入促進
- スタートアップ支援
- グローバルサウスとの連携強化 等

4. 人口減少を乗り越え、変化を力にする社会変革を起動・推進する

- デジタルライフライン整備 等

5. 国土強靱化、防災・減災など国民の安全・安心を確保する

- 福島復興（廃炉、ALPS 処理水風評対策）
- 中小企業災害復旧支援、工業用水道の強靱化
- ウクライナ復興 等

経済産業省HP

https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/hosei/index.html



商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリーS・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED・・・Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実に向けたサポート強化

(お客さまライフステージ)



本業支援 事業性評価を起点とした本業支援
○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援 お客さま支援の基本となる金融支援
○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。
【お問い合わせ先】
**株式会社商工組合中央金庫
高松支店**
〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に業況悪化を来しているみなさまを対象とした「新型コロナウイルス感染症特別貸付」を取り扱っております。くわしくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○新型コロナウイルス感染症特別貸付の概要

ご利用いただける方	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な業況悪化を来している方であって、次の1から3のいずれかに該当し、かつ中長期的に業況が回復し、発展することが見込まれる方 1.最近1か月間の売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高が前5年のいずれかの年の同期と比較して5%以上減少している方 2.業歴3か月以上1年1か月未満の場合等は、最近1か月間の売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高(業歴6か月未満の場合は、開業から最近1か月までの平均売上高)が次のいずれかと比較して5%以上減少している方 (1)過去3か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高 (2)令和元年12月の売上高 (3)令和元年10月から12月の平均売上高 3.債務負担が重くなっている方(注1)		
お使いみち	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会的要因等により必要とする設備資金および運転資金		
融資限度額(いずれも別枠)	国民生活事業	8,000万円	
	中小企業事業	6億円	
ご返済期間(うち据置期間)	設備資金20年以内(うち据置期間5年以内) 運転資金20年以内(うち据置期間5年以内)		
利率(年)(注2)	国民生活事業	6,000万円以内の部分	融資後3年目まで:基準利率-0.5% 4年目以降:基準利率
		6,000万円を超える部分	基準利率
	中小企業事業	4億円以内の部分	融資後3年目まで:基準利率-0.5% 4年目以降:基準利率
		4億円を超える部分	基準利率
担保	無担保		

(注1)一定の要件を満たす必要があります。要件の詳細は、お近くの支店にお問い合わせください。











(注2)基準利率は、災害発生時の融資制度に適用される利率(融資期間に応じた所定の利率)が適用されます。主な貸付利率は日本公庫HPをご覧ください。

〈支店窓口〉 **株式会社 日本政策金融公庫 高松支店**
URL: <http://www.jfc.go.jp>
〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階





国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274
中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

インバウンド需要の増加により人流が増加したこと等から、
売上高DI値と収益DI値は改善しているが、
人手不足・人材確保の問題等により景況DI値は悪化した。













































2023年11月

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●最低賃金の上昇により、収益が目減りしているように感じる。(惣菜) ●地域のイベント等もコロナ前と同様に開催されるようになり、業務用商品は以前の水準までほぼ戻っている。(製粉製麺) ●組合員の出荷量推移は前月対比110.6%、前年同月対比で107.3%(10月分)である。(調理食品) ●日本冷凍食品協会による9月の冷凍食品生産数量は昨対95.0%となり、昨年の9月以降13か月連続で前年実績割れとなった。カテゴリ別ではフライ揚げ物類が100%と前年同月比に達したもののフライ類以外の調理食品が94.0%、菓子類が99.4%となり、フライ類以外の調理食品を除いて回復が見られた。業態別では市販用が91.6%、業務用が101.8%と業務用は前年を上回った。11月は年末にかけての商品の作りこみ時期となり、稼働状況も好転してきていると思われる。また、直近では多少ではあるが円高の傾向にあり、為替の影響によって仕入れ価格の抑制につながることを期待したい。(冷凍食品)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●11月は平年より高い気温で推移した結果、手袋の需要は遅れており、皮革・合成皮革手袋についてはやや悪化した。繊維製手袋についても低価格帯の商品の受注増は変わらないが高額商品の出足は遅く総じて悪化傾向となっている。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●円安、物価高の影響は続いており、家具小売業界の業況は回復していない。原材料高騰は落ち着いているが、下がることはなく価格転嫁した商品はやや落ち込んでいる。来期に向けての新商品開発は、コストも重要だが、県産木材を活用したSDGsを意識させる取り組みは必須と考えている。(家具) ●物価高が続き生活が圧迫されている状態等の影響で、昨年より新設着工数は減少しており、荷動きが鈍くなっている。業界の悪化状況は続いている。(製材) ●円安により輸入材、建築資材の値上がりで新設住宅着工戸数も減り、全ての動きが鈍く、利益率も悪化している。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●11月は年度末の案件が増えているがコロナ前には戻っていない。インボイス制度で未加入の個人事業者への対応が個人対応になり経理処理が煩雑になっている。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●6月時の価格改定が12月分の積算に反映され、連合会共販の全県1本化が今後の課題とされる。(生コン) ●大企業では、賃金の上昇が続いているようであるが、中小零細企業には、他人事の話である。組合員の事務所にとっても、賃金を上げることなど出来そうにない。賃金を上げることができず、人材の確保も難しくなってきている。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気料金、物価高騰が経営に及ぼす影響、賃金世間相場と借入金利が上昇傾向にあることから、採用と資金調達のパラダイムシフトの転換を余儀なくされる。時代の流れを痛切に感じる。コロナ禍は収束したようにも見えるが、会合自体も懇親会が「様子見」のところもあり、様々な懸念が払拭され、令和元年頃をふと懐かしむ今日この頃である。(鍍金) ●建築鉄骨需要は、前年割れで推移しており依然として地場の中小物件は少ないが、商社物件の受注や同業他社の加工協力など各社の工場稼働率は一定程度確保している。しかし、図面の決定遅れ・工程のずれなど課題もあり価格面でも競争が厳しいものも出てきている。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●親会社(川崎重工業)は水素燃料船の建造に向けて動き出している。(造船)
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●来期用の原材料(骨、紙、運賃)等が値上がり傾向にある。(団扇) ●毎年開かれてきた地元百貨店での地場の伝統工芸品店がなくなったり、商工会開催のフェスタが会場の都合で高松商工会議所所属の事業者の出店ができなくなるなど、行政の補助による催事が今後どうなっていくかが心配である。(漆器) ●11月の業況は前年同月と比べて増加した。前月からの売上が上昇したまま、とても忙しく雇用人員を2人増やした。これによってやっと防衛省発注の仕事がはかどった。同業他社も忙しくて人員確保に奔走している。(綿寝具) 	
非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●国内外の旅行時にインバウンド需要が景気の後押しをしている。また、様々な物の値上げに重ね、野菜の高騰が続いたが、中旬頃から少しづつ落ち着きをみせてきた。今年の秋は、地物菘茸が不作だったためか盛り上がり欠けた。(青果物) ●高松市内に県外安売業者のSSが開業し、周辺では過密競争が発生している。また、燃料油激変緩和補助金の延長が2024年4月末までとなった。これによる販売価格の決定に苦慮している事業者が多くなっているのが現状である。(石油) ●設備工事や官庁の空調工事が売上は良かった。PC関連も先月に引き続き好調だった。インボイスに対応することに注力して通常事務作業が疎かになってきている。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●11月上旬は暖くなる日もあり、季節物の売上に影響が出るかと思われたが、後半はしっかり気温が下がり季節らしさが戻り、セールまでに多く販売できる環境となり、例年以上に冬物の売上に期待が高くなっている。インバウンド客も変わらず多く、今までドラッグストアが総合ディスカウントストアでの買上げがほとんどだったものが、高級ブランド衣料品にも購買の影響が出始めた。新型コロナウイルス感染が、今後大きな波になる可能性は低いと感じており、ようやく収束への流れとなりそうである。商店街の通行量もコロナ禍前に並ぶほど増えており、年齢層に関係なく、復活したイベントや季節の行事、人との集まりを楽しんでおり、物価高が消費に影を落としてはいるものの、ほとんどの業種において数字は上向いてきている。また、中高齢者や団体のお客さんが酒類を伴う飲食店に回帰しており、夜の街も復活しつつある。11月22日にイタリアンファミリーレストランが丸亀町グリーンにオープンし、年末へ向けて賑わいに貢献してくれている。また、他にも商店街の空き店舗にテナントが入居する動きが顕著で、来春にかけては、新規オープンの店や施設が増えそうである。来春、JR高松駅の駅ビルが増床オープンの予定であるが、今のところ、商店街の強力なライバルとなるテナント等はラインナップされていないが、オープンから一定の期間は商店街への客足のダメージとなると考えている。ただし、来春には今以上にインバウンド客が増加していると思われることから、通行量自体には大きな影響はないとも考えている。(高松市①) ●ようやく季節が感じられるようになり、シーズン商品が動き出したように思う。ただ食料品をはじめ全てにおいて値上がりしているのでお客様からは悔やまれ、買い控えの様子も見受けられる。インバウンドで欧米諸国からかなり増えていたと見えたが、何人かのお客様から高松

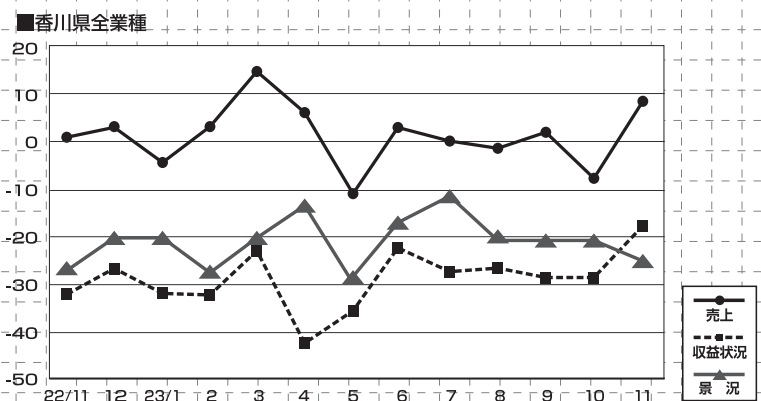
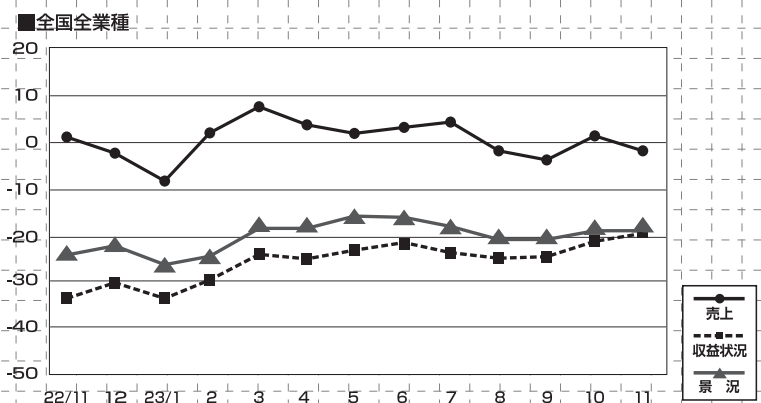
11月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は8.3ポイントで前月調査の-6.3ポイントから14.6ポイントの改善、収益DI値は-16.7ポイントで前月調査の-29.2ポイントから12.5ポイントの改善、景況DI値は-25.0ポイントで前月調査の-20.8ポイントから4.2ポイントの悪化となった。

非製造業	 <p>は素晴らしいと喜んで頂いた。新聞では、あらゆる地域でのイベントが満載の日々。高松中央商店街でも、「たかまつ元気DAY」で大いに賑わった。また12月にかけ「まちへ行こう!高松商店街がおもしろい!」として各商店街特別企画が発表された。8町で切磋琢磨し取り組んでいる。(高松市◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●組合員の業況は厳しく、各店の営業が難しくなっている。(坂出市) ●もともと11月は、消費が低迷する月だが、今年は特にひどく悲惨な状況と言えた。消費者の「余計なものは買わない」という引き締め姿勢が続いている。天候も気温の寒暖差が厳しく不順で、街へ出てくる人が一層減ったと感じた。(丸亀市)
	 <ul style="list-style-type: none"> ●現在、活況を呈しているように見えるが、OTAじゃらん、楽天トラベルなどに評価されているように、客室が供給過剰になっている。例えば高松でいうと、コロナ前に対して、40%近く客室が増加している。ここに、民泊が急増し、平日は完全に供給過剰になり、ダンピングに走る施設が多い。新築VS民泊の感を呈している。また、急増した客室に対し、リネン業者の設備、清掃業者の人員が追いつかず、価格の高騰が発生している。円安で、海外からの技能実習生も減少している。例えばフロントスタッフの代替としてチェックイン機の導入などで対応できるが、清掃は、実際に人手で対応するしかない。電気、ガスの高騰にさらに前述のことが追い打ちをかけ、厳しい状況である。高松ではさらに2棟からなるビジネスホテルが近々にオープンに向け工事が始まっている。今後更に高級ホテルもでき、激戦状態は、さらに続くものと推定される。(旅館) ●我が国で最も大きな規模と、高い技術水準で競われる権威ある第51回全日本美容技術選手権大会が、「Gサミット」が開催された地、広島グリーンアリーナに於いて開催された。当組合の組合員が見事優勝し、日本一の優勝旗を手にした。組合始まって以来の快挙を成し遂げ、内外に香川県の技術力を大いにアピールすることができた。(美容)
	 <ul style="list-style-type: none"> ●インボイス制度が施行され、組合員も全社登録済であるが、施行前に取引先の登録状況を事前確認したのは数社のみだったようで、施行後も免税事業者との取引も継続して行っている所がほとんどで、免税事業者との取引を終了したという声はあがってきていない。段階的に仕入税控除が減少する経過措置の影響もあるかもしれない。(総合建設)
	 <ul style="list-style-type: none"> ●令和5年10月の輸送実績は、対前年同月比で営業収入121.0%と増加し、輸送人員は99.7%と減少した。(タクシー) ●令和5年10月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は、2.8%減となり、対前月比では3.5%増となった。また、10月分利用車両数の対前年同月対比は、3.3%減となった。(トラック) ●公益財団法人日本トラック協会が11月13日発表のトラック運送業界の景況感(令和5年7月~9月期)によると、業界の景況感は、一般貨物の輸送数量は増加傾向にあるものの、高止まりした燃料等の輸送原価を適切に転嫁できていないことを反映し、業界の景況感は▲33.5(前回▲32.1)と1.4ポイント悪化した。今後の見通しは、輸送数量等が改善する見込みから、▲25.0(今回▲33.5)と8.5ポイント改善の見込みである。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化(対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品			
	繊維工業			
	木材・木製品			
	印刷			
	窯業・土石製品			
	鉄鋼・金属製品			
	輸送用機器			
	その他			
非製造業	卸売業			
	小売業			
	商店街			
	サービス業			
	建設業			
	運輸業			
	その他			

DI値の推移(対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chukai-kagawa.or.jp/>